

第4回 介護・医療連携推進会議報告

平成25年1月21日 16時～

ケア・オフィス 優 (介護看護課)

<出席者>

札幌・すがた医院 院長	菅田 忠夫 様
小樽市医療保険部 主幹	浅野 良孝 様
小樽市介護保険課	須摩 敦子 様
中部地域包括支援センター	松田 記代子 様
ケア・オフィス 優 管理者	二丹田 早稲子
ケア・オフィス 優 介護福祉士	屋代 利恵子
ケア・オフィス 優 事務職員	齋藤 智世

1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス 集計報告

① 10月、11月、12月の集計

② 疾患の別

- ・末期癌
- ・脳梗塞後遺症
- ・心疾患
- ・老衰

③ エリア

- ・塩谷～潮見台

④ 中止理由

- ・死去・入院

2. 定期巡回サービス内容報告

① 排泄介助、バルンバック尿廃棄

② 配膳、下膳

③ 内服介助、麻薬テープ交換見守り

④ 起床、就寝介助

⑤ 体位交換

⑥ 調理

⑦ 食事介助

⑧ 清拭

⑨ 買い物

⑩ 介助（自費）

前回の会議の中で報告した、定期巡回サービスの中で入浴介助を行っている検討事例

については、デイサービス利用により入浴をしていただくことで解消しています。

3. 随時対応サービス内容報告
 - ① (定期訪問のヘルパーによるもの) 飲酒しており、内服との併用は良いか。
 - ② (〃) 就寝薬後に入浴をしようとしている。
4. 随時訪問サービス内容報告
 - ① 尿漏れ(カテーテル折れによるもの)
 - ② 内服紛失(あらかじめ看護師セットした残薬をセッティング)
5. 訪問看護緊急対応内容報告
 - ① 体調不良(痰がらみ、胸苦、発熱、血圧上昇、倦怠感)
 - ② 医師による処置指示変更
 - ③ 医師による処方変更 → 夕方の訪問診察後の処方変更時の対応
6. 現状問題
 - ① 職員数の不足(継続課題) → 求人誌へ掲載。本日よりヘルパー1名非常勤勤務
看護師の反応はない状況
 - ② 利用者の伸び悩み
7. 広報活動
 - ① 上部入船町会 回覧板によるサービス内容の説明
 - ② 地域包括支援センターへ再度広報
 - ③ 道新に掲載(12月14日)
 - ④ 三師会(12月1日)にて講演
→ 三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)にて医師の方々へサービス内容等の説明を行いました。

また、小樽市介護保険課の協力により、要介護3以上の方、約3,000人へオムツ助成の案内に併せて当サービスのパンフレットを同封、配布していただきました。

8. 問い合わせ状況
 - ① サービス内容について
 - ② 単位数について

広報活動により、ケアマネージャーからの問い合わせが数件ありました。

問い合わせ内容は、サービス内容・対象者・単位数等で、現時点では、サービス導入には至っていません。

再度、各ケアマネージャーへサービスの詳細内容を説明する必要があると感じています。

9. 実地指導

平成 25 年 2 月 19 日（火）13 時 30 分～

指導後、書類等の見直しをしていく予定です。

10. 意見交換

現在は、褥瘡処置とその他排便時等の対応というサービス導入の問い合わせがあり、検討しているところです。

実際のところ、ヘルパーではなく看護師が対応しなければならない程度の傷であり、ヘルパーサービスをメインとするこのサービスで、どのように対応できるかという点について役員の方から意見をいただきました。

→まず第一に主治医の褥瘡治療の方針が重要となり明確な指示が必要であること、また、ヘルパーが対応できる程度の傷ではないと見受けられるため、看護師の対応回数が増えることが予想される。

現在は対応可能でも長期にわたり対応することを考えると、難しい状況になる可能性もあることから、サービス導入へは慎重になる必要がある。

サービスの内容と目的をケアマネージャーにもご家族にも明確に説明した上で、支援できるように検討すべきである。（菅田医師より）

排便介助はヘルパーが行い、傷処置についてはご家族へ指導できるか再検討することとする。

11. 役員の方からの助言など

利用者の確保の点からすると、ヘルパー指定を取得していない高齢者向け住宅・下宿等で居住者の要望により指定を取得したという話もあることから、そのような住宅や下宿等の方に定期巡回サービスを知っていただき、必要としている方へのサービス提供・支援ができるようになると良いのではないかと。（小樽市役所 浅野主幹より）